

# てんてい新聞

15. 7 No. 21  
発行所 新潟日報社  
責任者 0883-88-529  
3. 登りはじめ、三平  
分社から、体力的  
に弱い生徒が、  
苦勞してはひめ  
る。

ちがつと古いと言つても、念舟の五月末日の話  
のど。

東祖谷中學校では、例年、クリーニ登山とい  
うことで、三嶺に登ります。

そのクリーニ登山が五月三十一日に実施され、  
私も同行しました。生徒二十名と先生六

名と、曇天でしたが、頂上では遠望も出果  
たし、風もひく、頂上では皆んなと弁当を食べ

る、これが出来て、楽しい一日でした。

誰一人とも諦めることもなく  
全員が頂上まで登りきりました。



## ありがとう

何回か休想をとりながら、皆んなでサポートし  
一歩一歩登る。頂上 近くなつてからは、休想が  
長くつてきはじめてのど、無理かひあつてケッ  
つと頭の中を雑念がまはじめて、  
ど、時局的に休みますと、二気の人ども次に  
動くには、ひかひかスウィッチが大いぶり、よく  
頑張りました。ともすれば、イヤな事也得意  
ひことをすく諦めてしまつたのに、彼女の意志  
の強さは、まごいひあとおもひました。

皆んなより、少し遅れたが、先生と二緒に登  
つて来て姿を見て、私は嬉しさと共に大変  
感動し、ちまびりゆんつときました。

彼女とハイタッチした感動は、その日の一番  
印象に残りました。 ありがとう。

クリーニ登山です。当然ながら下山しは  
がらゴミを拾ひました。

その他にも、ヤニラウソウなどの植物や木々の  
事など、そこは自然観察。また、シラケケカハ  
ラの「ターガン」遊びなどもあり、苦しい山歩き  
の中がと堪えしめもありました。

また、お互いにサポートしあつて、全員が頂上に  
立つた事は、ごささあいのんがそれをわに  
つたから出来た事だ、さばらしい事の一つ。

願わくば、山歩きの印象が悪いことではな  
く、色々楽しみがあり、また行くみたいと考  
えて欲しいものです。

昔手仕事で一歩一歩と歩めば、目標に近  
かけることを体験出来たことは、アラスカに  
行ったとあつた。

昭和40年代に、期待を込めて、私達の親世代が  
ほとんど入力で「植」植、今、子や孫の世  
代にひりつつあり、過疎が進行し、ほとんどの村  
が放棄されています。

丸いど、村や木は成長し、まるで、まごいとは  
いえ、経済的には、ほとんどかひる様だ、豊かというの、村業が、あり  
たつている、下の集落は、私の住む今野地区、ここ203年だ、村を  
切つた所が広くあり、切つた者が、悪いとさる、  
この切つた場所には、ほとんどか、田や畑を、PT=52、この後、  
どうなつていのか、正面の山は、ト平

丸いど、村や木は成長し、まるで、まごいとは

丸いど、村や木は成長し、まるで、まごいとは

丸いど、村や木は成長し、まるで、まごいとは

丸いど、村や木は成長し、まるで、まごいとは

